

大好きなお父さんとサッカーしたよ！

父子ふれあいサッカー教室 in阿蘇



父子でサッカーを通して絆を深めてもらおうと、ロアッソ熊本による「父子ふれあいサッカー教室 in 阿蘇」が2月12日、農村公園あびかで行われ、30組の親子が参加しました。

この催しは、熊本県の委託事業により昨年から県内各所で行われており、阿蘇市では初めて。

教室では、ロアッソ熊本の現役選手とスタッフがコーチとして指導し、父子で手をつないで取り組むユニークな練習内容で、ふれあいながら汗を流して楽しみました。服部勇希くん（4年）は、「お父さんとサッカーができて嬉しかった」と喜んでいました。

「チョーイ、チョイ」掛け声でウサギ追い

宮地小学校ウサギ追い



一の宮運動公園付近の山林で2月11日、宮地小学校の児童と保護者ら約160人が参加して、ウサギ追いが行われました。

このウサギ追いは阿蘇の各所で行われており、宮地小学校でも長年行われている行事の一つです。

参加者はウサギを待ち構える「網隊」とウサギを追う「勢子隊」に分かれ、手作りの棒を地面に叩き、「チョーイ、チョイ」と大きな掛け声でウサギを追いました。残念ながらウサギを捕えることはできませんでしたが、井手龍之介くん（6年）と藤島阜資くん（同）は「楽しい思い出ができた」と満足気でした。

みんなで楽しむニュースポーツ

第7回阿蘇市民スポレクフェア

▶ペタンクの部で優勝した「阿蘇ドリームズ★母」の皆さん（後方3名）



◀ふらばるバレボールの部で優勝した「阿蘇温泉病院」の皆さん

市民の健康づくりと、誰でもできるスポーツの普及を図ろうと、第7回阿蘇市民スポレクフェアが2月19日、阿蘇体育館で開催され、110人が参加しました。

また、スポーツ吹矢体験等もあり、老若男女問わず、ニュースポーツをたくさんの方が楽しみました。

不法投棄に鋭い目！

廃棄物不法投棄監視合同パトロール



不法投棄された冷蔵庫

不法投棄防止の啓発を図り、廃棄物の不法投棄を未然に防止することを目的とした廃棄物不法投棄監視合同パトロールが2月6日～14日まで県阿蘇地域振興局管内で行われました。

この取り組みは県・警察・振興局管内市町村・民間監視員等12団体からなる阿蘇環境ネットワーク（事務局：阿蘇保健所）の主催により毎年行われているもので、初日の6日は阿蘇市内の5地域を巡回しました。この日の巡回では、冷蔵庫や農業用ビニールなどの不法投棄を確認しました。

不法投棄については管理者（占有者）で対応とすることが基本ですが、廃棄物から投棄者が特定できる物については追跡調査を行うこととしております。

今月の Pick up!

内牧温泉街の発展は料理から！料理人有志が「阿蘇料理維新の会」を結成

市内の旅館やホテル、飲食店の料理人の有志が集まり、内牧と阿蘇市全体の活性化を図ろうと、「阿蘇料理維新の会」が結成されました。

内牧の旅館で料理長を務める漆原宏会長をはじめとし、16店舗、40名で組織する同会は、料理人としてかつての内牧温泉街のように、活気ある街を取り戻すために出来ることはないかと、今年2月に結成。「子どもの頃の記憶で、たくさんの人で活気づく内牧温泉街

の情景がどうしても忘れられない。みんなで協力してあの頃の商店街を取り戻したい」と発足のきっかけを話す漆原会長。同会では、勉強会や意見交換会を通して料理技術の向上を図りながら、介護施設や保育施設などのイベントに協力し、料理の技術を伝授したいとしています。

また、新たな郷土料理や阿蘇の食材を使った新商品の開発など、料理人ならではの取り組みを展開していくとのことで、「内牧温泉街の発展が阿蘇市全体の活性化に繋がれば」と、『料理』に着目しこれまでにないスタイルで阿蘇市の発展に一致団結して取り組む「阿蘇料理維新の会」。今後の活動に大注目です。



▲「阿蘇料理維新の会」の皆さん。

美しい環境と景観のため、広葉樹を植樹

長寿ヶ丘付近の山中に400本



阿蘇北外輪山トレッキング協会（阿南善範会長）と阿蘇ライオンズクラブ（山本勝一会長）の皆さんが2月19日、狩尾の長寿ヶ丘の東側に位置する山中に、モミジやクヌギ、コナラなど400本を植樹されました。

この植樹は、環境と景観を世界の阿蘇によりふさわしいものにしようと、トレッキング協会が毎年行っているもので、今回は同様に様々な場所で水源涵養林の植樹活動を展開している阿蘇ライオンズクラブも協力し、共同で実施されました。こうした活動の積み重ねで阿蘇の環境が未来へ受け継がれます。

気持ちを込めて造った手作りベンチ

清峰高校最後の卒業生がベンチを寄贈



4月から全学年が完全に阿蘇中央高校に変わるため3月末で閉校する阿蘇清峰高校、林業・農業土木科の3年生が、学校林から切り出したヒノキで製作したベンチを、JR宮地駅、波野駅、赤水駅に寄贈しました。

これは、お世話になった地域に学校名を記した生徒手作りのベンチを贈ろうというもので、末永く多くの人たちに利用してもらうため丹念に製作に励みました。完成したベンチはしっかりした作りで3人がゆっくり座れます。駅でたくさんの乗客を癒すことでしょう。